

アフリカのICTハブ を狙うルワンダ で起きている最新のムーブメント

レックスバート・コミュニケーションズ株式会社
代表取締役 田中 秀和

ルワンダ

Rwanda



INTRODUCTION

イントロダクション

自己紹介

レックスバート・コミュニケーションズ株式会社

代表取締役 田中 秀和

2009年設立、ソフトウェア開発会社。

2011年にルワンダ人エンジニアと知り合ったことをきっかけに、ルワンダでのオフショア開発の可能性を模索。

JETRO開発輸入実証事業に採択され、2014年には現地関連会社WiredIn社をジョイントベンチャーで設立。

現在WiredIn社を含め14名在籍。日本だけでなく、ヨーロッパ、ルワンダ国内のソフトウェア開発プロジェクトを手掛ける。



Rwanda Office



Alain



Aimable



Chanelle



Marius



Ozias



Yvan



Charles



Yves

他2名

Tokyo Office



Hidekazu



Hiroyuki



Ryota



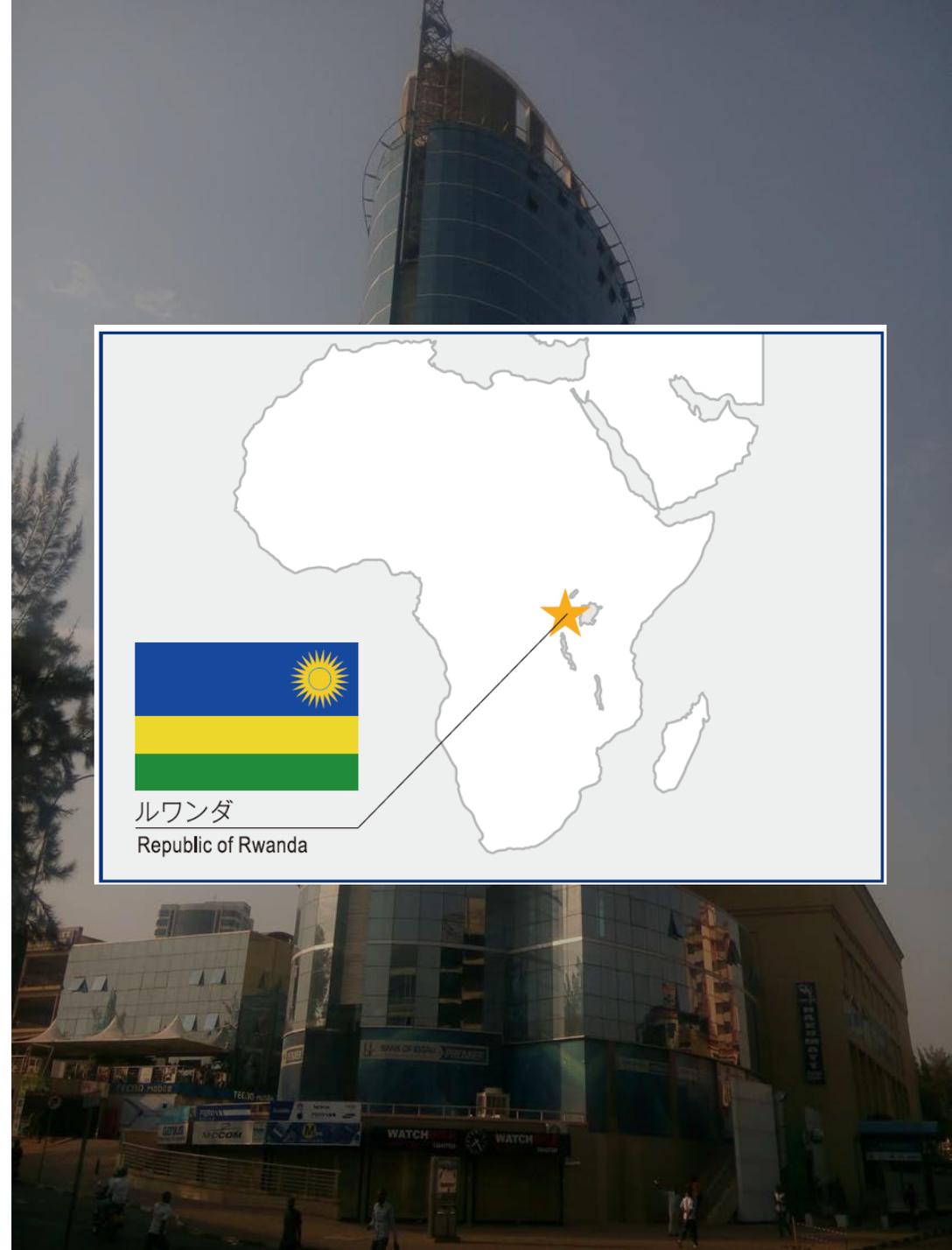
Takashi

INTRODUCTION

ルワンダについて

急成長中 アフリカの奇跡 ルワンダ

人口	約1,200万人	
面積	2.63km ²	(1.88km ² , 四国)
首都	キガリ市	(約150万人)
日本との時差	-7時間	
公用語	英語・フランス語・キニアルワンダ語、スワヒリ語	
GDP	80億ドル	(679ドル/人)
経済成長率	7~8%を維持	



RWANDA ICT TODAY

国家戦略

VISION2020

2000 年に中長期的な国家開発計画「VISION2020」を策定し、2020 年までに一人当たりのGDP を220 米ドル（2000年）から900 米ドルにすることを目標

6つの柱

- ① 健全な政府と優れた自治体
- ② 人材育成と知識基盤経済
- ③ 民間主導の開発
- ④ インフラ開発
- ⑤ 生産的な高価値とマーケット統合型農業
- ⑥ 地方と他国との統合



ICT立国

ICTの活用は成長ドライバーの1つ重要な位置付けである

RWANDA ICT TODAY

ICTインフラストラクチャー

光ファイバー網・ インターネット回線

国全体4,000kmに渡って敷設済み。
ただし、オフィスに光回線を引き込んだ際の費用は高い。

3G/4Gネットワーク

都市部はすでに4Gエリア
3Gのカバー率は90%を超える。
4Gモバイルルーターも普及しつつある。月額コストは日本と同等かそれ以上。

スマートフォンの普及

安価なものは、5~6千円から購入可能。都市部の若者を中心に普及

RWANDA ICT TODAY

ICT教育



カーネギーメロン大学 ルワンダ校

アフリカで唯一ルワンダに存在

ICTの博士課程

学生はルワンダだけでなく、アフリカの他国からも
将来のICT業界のリーダー層の輩出が期待される。



教育

優秀な学生が優先的にIT分野に進むことを
ICTバスや100ドルPCなど、コンピュータ・イ
ンターネットに触れる機会の創出
高等技術専門学校への海外からの支援
(トゥンバ高等専門学校)



ABEイニシアチブ

TICAD-V (2013) にて発表されたプログラム。
産業人材が日本の大学院に2年間の留学
半年の企業インターンを経て、帰国、職場復帰
今秋、第4期生が来日。
5期 1,000名の計画
ルワンダからの学生の多くが神戸に在住
・神戸情報大学院大学

RWANDA ICT TODAY

イノベーションの促進

kLab ケーラボ

IT起業家向けの会員制コワーキングスペース
起業家のコラボ、イノベーションの促進
JICAの支援の元、2012年にオープン
スタートアップ企業の例
SafeMotos / AC Group / TorQue



FABLAB ファブラボ

kLabの隣に2016年に開設された新しい施設
3Dプリンタや制御工作機械の並ぶ、物作り
からイノベーションの促進を目的とした施設。
ファブラボ提唱のMITや、JICAのバックアッ
プなどにより設立。



RWANDA ICT TODAY

市場環境

課題感

- 現時点で、市場規模は近隣諸国と比べると小さい
- 同様に購買力も、近隣諸国に比べると弱い
- 通信や電力などのコストが高い
- 通信速度・環境も、先進国のようなレベルにはない。
- 現時点ではエンジニアの国内需要がそこまで多くなく、あまり気味である。

優位性

- 人口密度が高く、首都キガリにおいてはそれなりの市場、購買力がある。
- 治安がよく、汚職も少ない。ビジネス環境の良さに対する世界的評価。
- 真面目、勤勉な国民性
- 課題は残るものの一通り整備され問題なく運用されるICTインフラ
- IT人材の獲得は比較的容易
- イノベーションに対する積極性

新しいサービスなどを現地で構築し、テストマーケ、周辺国に広げるといったことには十分チャレンジできる環境にある。

トピックス・事例

TOPICS

TOPICS & EXAMPLES

データエントリBPO

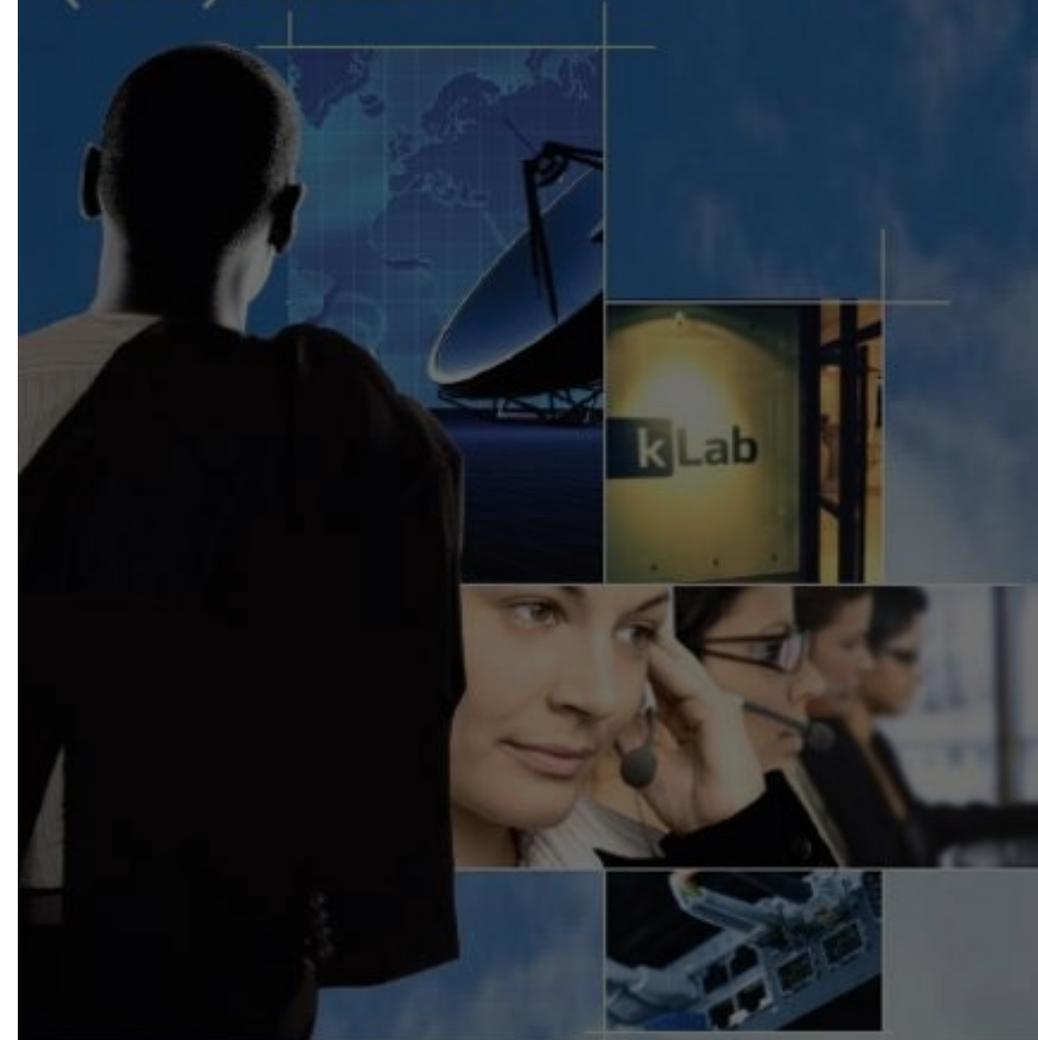
| BPO

インドのIT企業が、キガリ市内にて、
現地スタッフ100名ほどを抱え、データエントリーのアウトソーシングを行なっている。

インドは先進諸国からのアウトソーシング先であるが、発展に伴い、
インドからさらにアウトソースも行われるようになっている。

弊社（WiredIn社）にも、インド企業からの問い合わせは多い。

Business transformation through Business Process Outsourcing (BPO) innovation



TOPICS & EXAMPLES

オフショア・ソフトウェア開発



ルワンダ・キガリ市に本社をおく、ソフトウェア企業
日本支社、ワイヤードイン・ジャパン株式会社

2014年設立

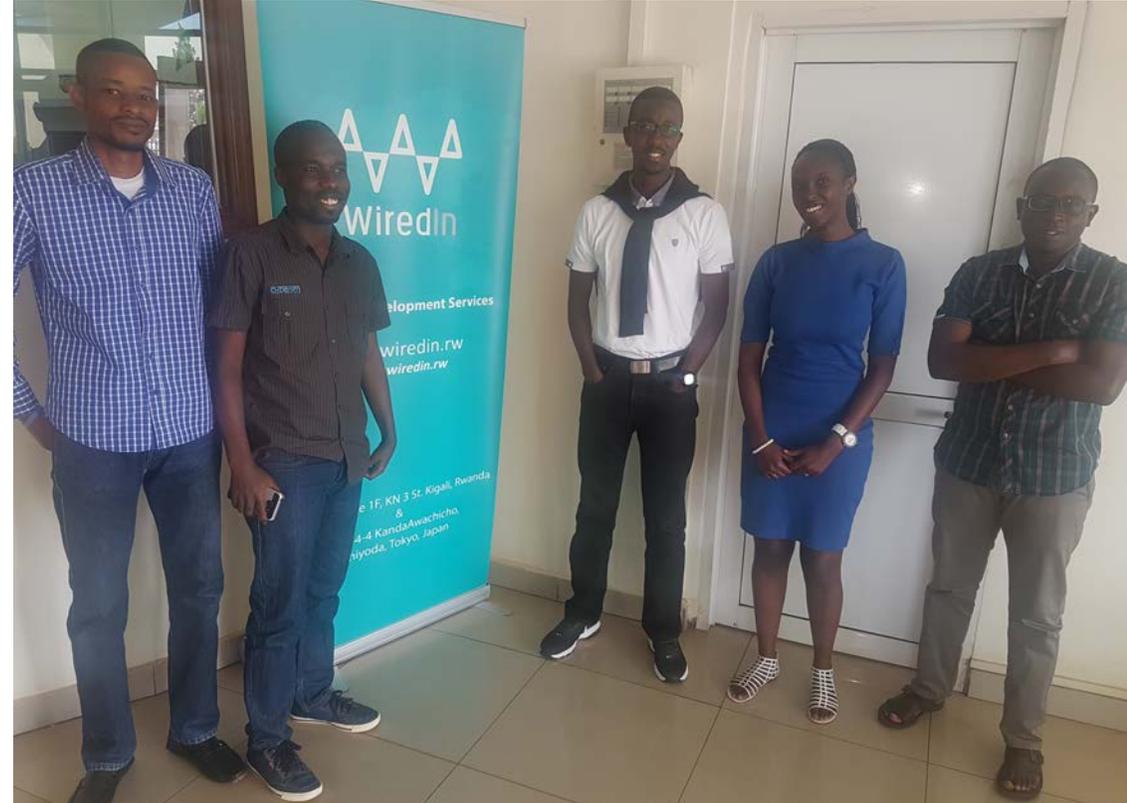
グローバル展開

主なクライアントの国

ルワンダ国内 / 日本 / フランス / ドイツ / オランダ / インド /
ガーナ 等

WEBシステム、スマートフォンアプリ、の設計・開発から運用まで

日本からのソフトウェア開発プロジェクトは、20件以上の実績。



TOPICS & EXAMPLES

DMM.africa の進出

| DMM.Hehe社

DMM.com 社が昨年アフリカへの進出を宣言し、DMM.Africa を設立
本年4月、ルワンダの有名ITベンチャー、HeHe.Lab 社の買収を発表

今後、現地でECやフィンテックなど、様々な分野にチャレンジする。

| HeHe lab とは

ルワンダのソフトウェア企業

代表のクラリス氏は、アフリカの女性企業家Top 10に名前を連ねる。

ソフトウェア開発の事業を行う側、高校卒業し大学に入るまでの間の学生をインターン
として集め、ソフトウェアの開発手法、サービスの構築手法などを指導するインキュ
ベーションの事業を行っており、この点が非常に注目を集めていた。

サービスの構築設計の手法は、氏が日本で学んだものを基礎としている。

TOPICS & EXAMPLES

ベンチャーキャピタルからの関心

| サムライインキュベート社

日本を拠点にグローバルを視野に入れ主にインキュベーションやスタートアップ支援事業を行っている、サムライインキュベート社

DMMのアフリカ進出の発表が一つのきっかけとなり、サムライインキュベートの代表と数名の担当者が5月にルワンダに視察

視察報告会では、50名以上の若手の起業家、起業志望者、アフリカビジネスに関心のある企業・個人が集まっており、大変盛況でありました。

TOPICS & EXAMPLES

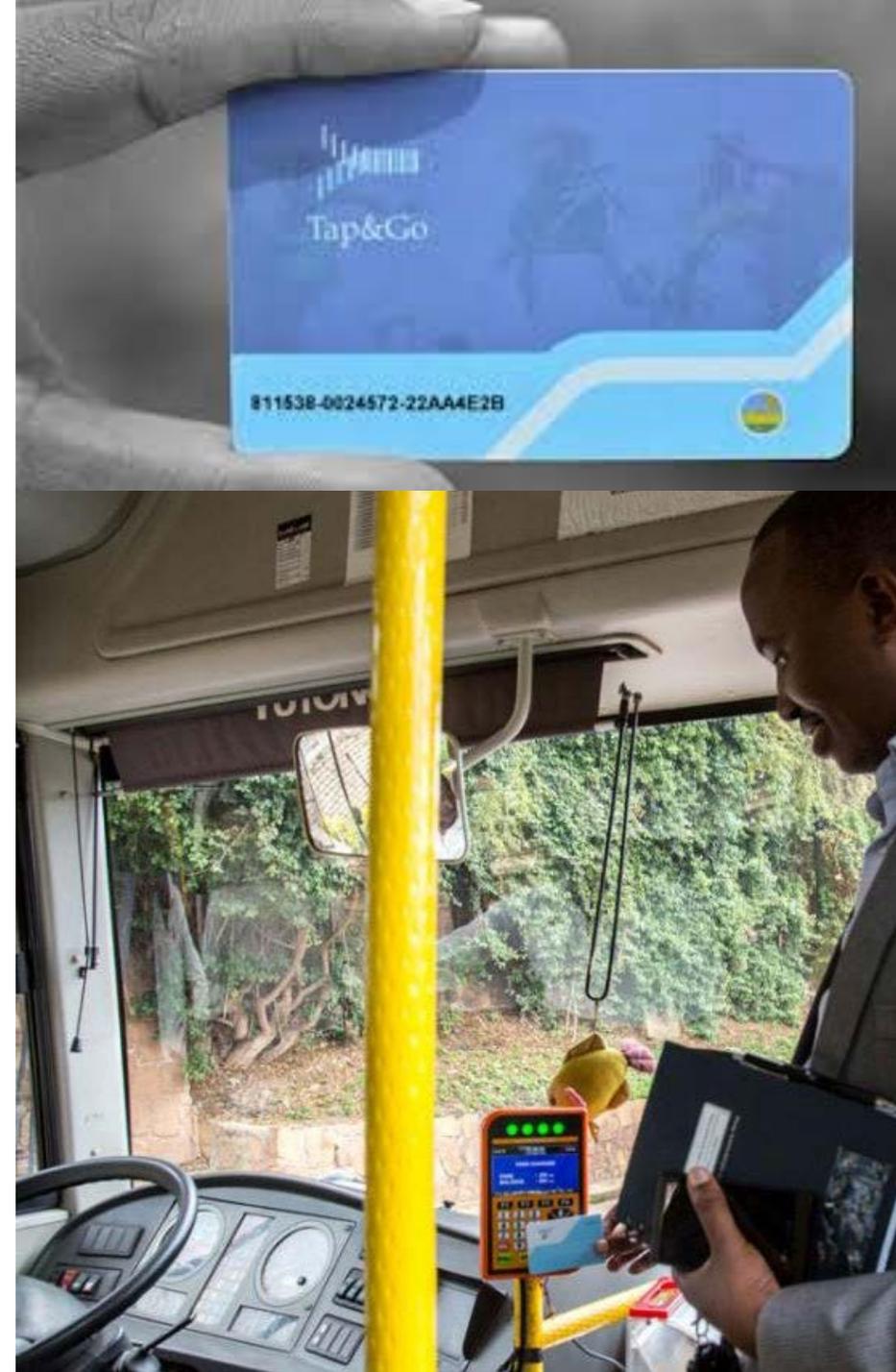
AC Group

| Tap & Go



現地の主要公共交通機関であるバスで利用可能な、ICカード、「Tap & Go」の開発・運用を行う、kLab発ベンチャー企業AC Group.

同じく、DMMからの出資を受ける。（子会社ではない）
市内の新しいバスはすでにTap&Goが利用可能で、今年に入って、ガーナへの同システムの導入が決定し、今後ビジネス規模が拡大することは確実な状況。



TOPICS & EXAMPLES

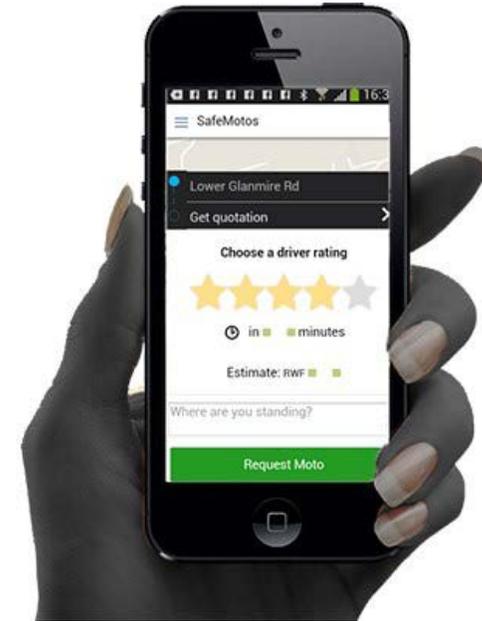
Safe Moto

| Safe Moto

kLab発ベンチャーの1つ

バイクタクシーも主要な移動手段の一つであるが、交通事故などトラブルも多く、スマホを使ったドライバー評価の仕組みをつくり、課題解決にチャレンジしている。

評価だけでなく、バイクを呼んだりといった便利な機能も搭載



TOPICS & EXAMPLES

Zipline / Drone

| ドローン空港 ドローンの実用化

ドローンを活用した実証実験が始まっている。
血液など緊急性の高いものをドローンを使って輸送する。
(Zipline)

世界初のドローン専用空港

ルワンダ国内に最終的に44箇所建設の計画



TOPICS & EXAMPLES

Hello food

| Hello food フードデリバリーサービス

ナイジェリア企業 JUMIA 社が手がける、フードデリバリーサービス。スマートフォン等でサービスに対応しているレストランのメニューを選んでオーダすると、1時間ほどで指定の場所に配達してくれる。

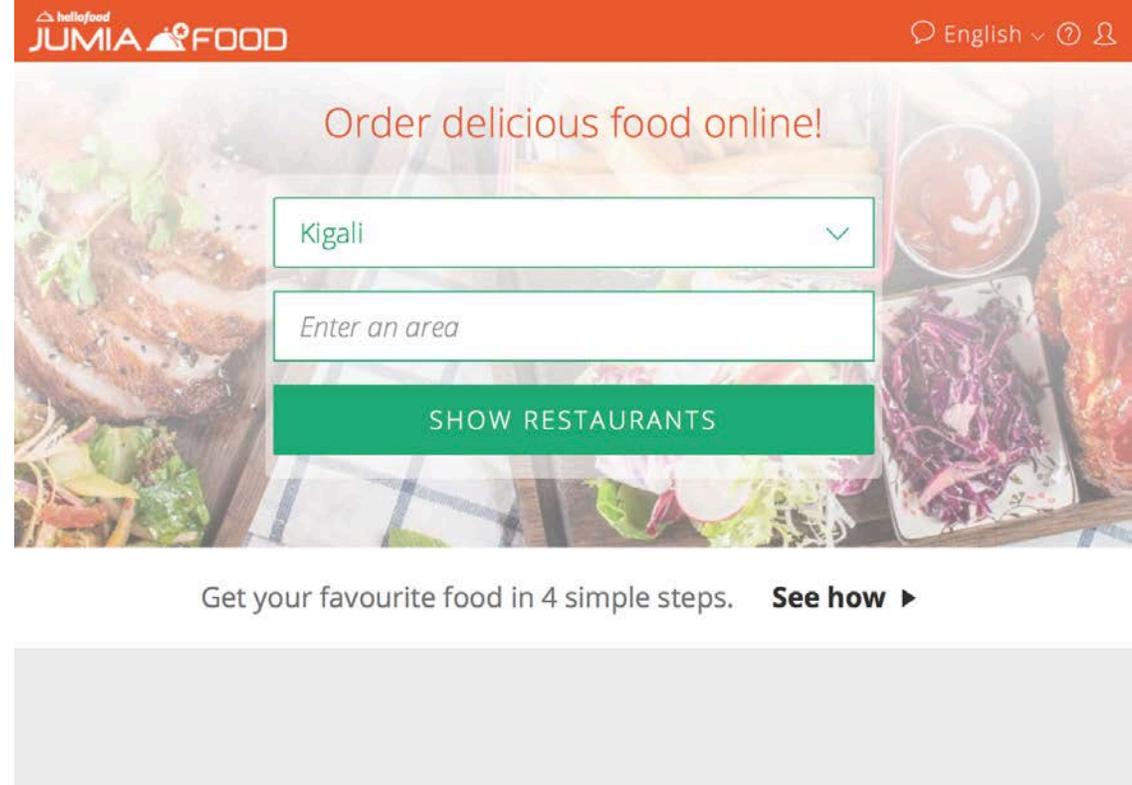
すでに多くの利用者、現地在住の日本人からも便利でよく使うとのこと。

JUMIA社



2012年設立のナイジェリア企業

アフリカ諸国に向け、物流の仕組みまで包括しながら、ECやフードデリバリーサービスなどを展開



Popular Restaurants



TOPICS & EXAMPLES

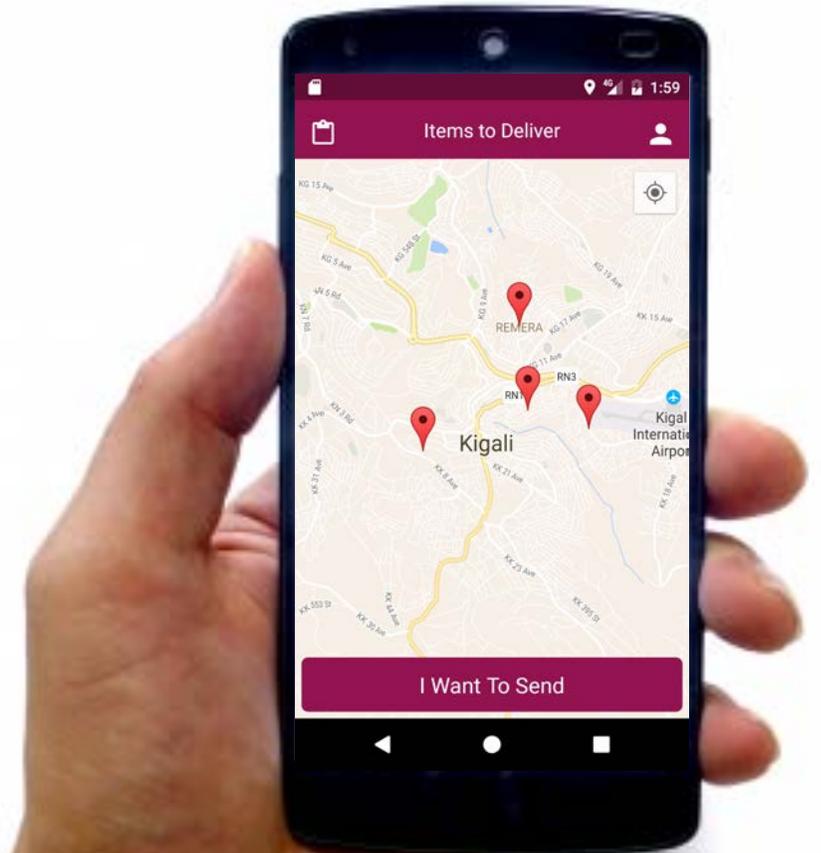
Ohereza

| Ohereza 宅配のシェアリングサービス

WiredIn社で開発している、物を送りたい人と、物を運んでくれる人をマッチングし、宅配を実現するスマートフォンアプリ。

現地では個人向け物流が弱いですが、トラックとドライバーを抱えての従来型の宅配サービスはまだ採算に乗る段階ではないが、一方で配送へのニーズは存在する。このような個人のリソースを活用するタイプのアプリはルワンダに限らず、同じような条件の国・地域で活用可能。

2017/7ローンチ予定



TOPICS & EXAMPLES

ICTパーク

経済特区

国際空港付近の広大な敷地に、製造業向けの工業区や、ICT産業の集積を目指した、ICTパークなどを計画、建設中。

製造業ではすでに工場が立地している。

カーネギーメロン大学ルワンダ校も新キャンパスをICTパークに建設中。



TOPICS & EXAMPLES

神戸市とルワンダ

| 神戸市とキガリ市、産官学の交流

2016年5月、神戸市長がキガリ市を訪問、キガリ市長と対談しICT分野における経済連携に関する共同宣言。

神戸市はABEイニシアチブで、ルワンダからの留学生（IT系人材が中心）を国内で最も多く受け入れており、日本で最もルワンダ人が多く在住する都市。

神戸市の民間企業が、ABEイニシアチブの卒業生の立ち上げたスタートアップと連携し事業展開を行なっているという事例もある。

ルワンダのICT商工会のメンバーが定期的に訪れたり神戸市から職員が訪問したりと、交流が続いている。



SUMMARY

まとめ

ICTを活用したサービス、イノベーションが急速に発展してきている。

3~4年前はまだまだICT立国はスローガンのような雰囲気であったが、ここ1年で急速に空気感が変わってきた。成果が出始めている。

プレーヤーが増加してきており、新しいものがさらに出てくるであろう期待感

元々IT関連の企業も盛んであるが、成功事例が出てきたことから、インキュベータ、VCからの注目がより集まるようになると、その勢いがさらに加速することが予想される。

マーケット自体はまだ大きくないが、ビジネスのしやすさを活用し、パイロットプロジェクトなどを行う事例などが出てきている。

いくつかの事例からも、ルワンダで開発、検証を行いながら実用化を目指し、そこから他国へ展開する流れが一つのモデルとして確立されつつある。



INFORMATION

日本ルワンダビジネスコミュニティのご紹介

日本ルワンダビジネスコミュニティ

日本・ルワンダビジネスコミュニティは、アフリカ・ルワンダにて、すでにビジネスをしている、今後ビジネスをしたいと考えている、ビジネスのきっかけを探している、そういった方が誰でも参加できる2016年12月に始まった新しいコミュニティです。

コミュニティではビジネスの最新情報を会員向けに共有するとともに、定期的な交流会の開催、ルワンダへの訪問ツアーなどを通し、日本とルワンダの間で新しいビジネスのつながりの創出することを目標としています。

WEBサイト

<http://www.rexvirt.com/jrbc/>

これまでの活動

2016/12 第1回ミーティング

2017/3 第2回ミーティング

5 第1回ルワンダ訪問ツアー

7 第3回ミーティング (予定)

10 第2回ルワンダ訪問ツアー (予定)

ツアーレポート

<http://www.wiredin.rw/ja/category/blog/>

